

環境経済・政策学会 創立三十周年記念シンポジウム

「アジアの温室効果ガス排出ネットゼロ にむけた公正な移行」

主催：Team STRA (Sustainability Transition Research Asia)

共催：地球環境戦略機関；環境経済・政策学会；京都大学地球環境学堂

- 日時：2026年3月6日（金）13:30~17:30
 - 場所：地球環境戦略研究機関（IGES）
240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11
 - 開催方法：オンライン開催
 - 登録：以下のフォームより3月4日（水）正午まで
- ※参加登録上限人数に達しましたので、受付終了しました。



シンポジウムの開催の背景と意義

気候変動がますます喫緊の課題となる中、紆余曲折はありながらも世界は低炭素化しています。本シンポジウムは、そうした潮流のなかで、アジアの自動車産業、電力産業、および関連産業の動向を俯瞰し、これらが経済的持続性及び国際間の公平性を確保しながら脱炭素化に対応できるかを検討します。また米国トランプ政権のMAGA政策が世界各国の気候変動政策への逆風となる中、アジア各国が温室効果ガス排出ネットゼロにむけた公正な移行を推進し続ける要件を導き出すことを目的とします。

プログラム

13:30~13:40 開会式

開会挨拶：水野 理 (IGES, 気候変動プログラムディレクター)、趣旨説明：森 晶寿 (京都大学, Team STRA リーダー)

13:40~15:10 I：中国の電力・交通システムのネットゼロ排出移行 <日本語> 司会：田村堅太郎 (IGES)

- 1：ネットゼロ排出移行の深化：複数システムの移行、移行促進ファイナンス、炭素漏出 ○森晶寿（京都大学）
- 2：中国の公正な移行は可能か？—石炭火力の役割の変化、石炭産業の就業構造の変化— ○堀井伸浩（九州大学）
- 3：中国の電力部門における電源構成の変化と炭素漏出 ○藤川清史（愛知学院大学）・伴ひかり（神戸学院大学）
- 4：中国の電力・モビリティ移行の国際バリューチェーン及び炭素排出への影響 ○王嘉陽・渡邊隆俊（愛知学院大学）

15:30~17:20 II：Net-zero and just transition in Asia under Trump II <in English> MC: Nobuhiro Horii (Kyushu University)

- 1：Perspectives on net-zero and just transition in Asia ○Nuki Agya Utama (ERIA / Asia Zero Emission Centre)
- 2：Implications on international supply chains ○Alexander Ryota Keeley (Kyushu University)
- 3：Energy transition and climate security in the Asia Pacific ○Nandakumar Janardhanan (IGES)
- 4：Sustainable business model innovations for transformative finance ○Akihisa MORI (Kyoto University)

17:20~17:30 閉会式



お問い合わせ

京都大学 森 晶寿

mori.akhisa.2a@kyoto-u.ac.jp

(★を@にして下さい)

本シンポジウムは、科研費(25H01199 代表：森晶寿)、環境経済・政策学会の助成を受けています。